

まだらの風



令和8年3月11日
学校便り No.21
校長 原口 真

『 育てよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、つなげよう馬渡の力 』
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

第79回卒業証書授与式 ～厳粛な中、感動のうちに式を終えました～

3月6日、春雨の中、小学校3名、中学校1名の新たな門出を祝いました。卒業生は証書を受け取った後、壇上から胸を張ってこれからの抱負を語りました。学校長の式辞では、卒業生の功績を称え、離島の学校だからこそできたつながりの強さを大切にしてほしいこと、一生懸命に取り組んだことに誇りを持ち一人ひとりの花を咲かせてほしいことを伝えました。教育委員会告示では東京デフリンピック代表、唐津市出身の金持選手がメダル獲得したことを紹介され、「あきらめずに努力すること」と周りの方々への「感謝」の気持ちを忘れず自分の可能性を信じてほしいと伝えられました。育友会長様の祝辞では、馬渡島で出会った人との「縁」を大切にしてほしいこと、「小中学校で培った経験を活かして何事も自信をもって頑張れ！」と応援する思いを伝えていただきました。小学生はお別れの言葉で卒業生が6年間を振り返り、在校生とともに感謝の気持ちを伝え合いました。中学校在校生代表からは卒業生と過ごした中で感じた人として誠実さとまっすぐさを見習いたいという思いとみんなが応援している気持ちを込めて送辞が贈られました。卒業生代表の答辞では、小中学校の9年間を振り返り、1年ごとの印象に残った出来事とかかわった方々との思い出を語り、先生方、在校生、保護者様、地域の方への感謝の思いが伝えられました。式歌「大切なもの」、校歌も思いを込めた声で歌い上げて式を閉じました。卒業生の新たなステージでの活躍を祈念します。



6年生ありがとう集会 ～在校生の感謝の思いに笑顔があふれました～

3月2日、「6年生ありがとう集会」を行いました。卒業を迎える6年生に、小学校在校生のみんなの感謝を伝える会です。「こおり鬼」で一緒に遊んでから、この日のために練習してきた「僕らまた」を歌って、12年生が選んだ写真をもとに「感謝の言葉」を伝えました。卒業をお祝いする色紙をプレゼントされると、6年生からも一人ひとりに感謝の手紙が手渡されました。6年生からは楽しかった思い出を振り返り、中学生になったら「勉強に力を入れる」「部活動を頑張る」と抱負を述べ、担任の倉崎先生からは「出会いは奇跡。このメンバーで残された時間を大切に過ごしてほしい」と思いを伝えてくれました。中山教頭先生からは過去と未来を考える大切さを伝えられました。小学生みんなの思いが込められた心温まる笑顔の会になりました。



3年生を送る会 ～卒業を前に思いを込めた手作りの交流会～

3月5日、卒業式を翌日に控え、「3年生を送る会」を行いました。中学1・2年生が3年生への感謝を込めて送り出そうという企画です。先生たちの幼少期の写真で「わたしは誰でしょうクイズ」は小さい頃の写真の意外なかわいらしさに盛り上がり、在校生手作りの「卒業記念カルタ」は、3年生の小学校時代からの思い出の写真と中学生の幼少期の写真をもとに、5・7・5ベースのカルタにまとめた力作で会場は大盛況に。最後に在校生から卒業記念品として特製手作りフォトフレームを贈ると、3年生から感謝の思いを伝えてくれました。卒業を前に心温まる時間を過ごすことができました。

